西山の空

令和４年１１月２５日発行　　第８号
柏崎市立西山中学校
https://www.kenet.ed.jp/nishijhs/
TEL 48-2150　FAX 48-2252

地方発。夢を叶えるための考え方。

校長　須藤　泰司

フラー（Fuller）株式会社の創業者であり現会長の渋谷修太さんのお話を聞く機会がありました。お父様は佐渡出身で、妙高市、南魚沼市、新潟市と移り住み、長岡工業高等専門学校（以下、長岡高専）に入学し長岡市で５年間を過ごす。筑波大学を卒業後一般企業を経てわずか１年余りで起業し、この会社をつくば市で立ち上げました。20 代にして世界有数の経済紙である Forbes の 30 歳未満の重要人物「30 アンダー30」（30 歳未満の 30 人の傑人）に選ばれたこともあります。就職した彼は、高専や大学で身に付けたコンピュータを活用してプログラムを作る技術を生かし省力化する仕組みを作り、会社の仕事を変えたと言います。その実績を自信とし自分の会社を興そうと考えます。長岡高専時代の仲間たちと、放課後にみんなでいろんなことを話し合っていたように、仕事をしていきたい。この仲間たちと働くようになってもずっと一緒にいたい、と感じて、23 歳の時に仲間たちと一軒家を借りてフラーを創業したと言います。当時、普及しだしたスマートフォンの可能性をいち早く捉えた一人で、アプリ開発などを通して人の願いとデジタルを結び付け、新たなビジネスを創り出しているのだそうです。デジタル技術の発達は、都会と地方の垣根を超えることにも着目し、今は新潟に本社を構えるようになったそうです。新潟の人との出会いを大切に、自分たちの技術でその人たちと共にデジタルで仕事を発展させていくお手伝いをしているそうです。社員は今や 100 人を超え、その仕事も多岐にわたるデジタルベンチャー企業へと発展しました。

中学生の皆さんは、知れば知るほど「**自分とは違うすごい人だ**」と思うでしょうか。渋谷さんは「**考えたら、行動に移す**」ことをしてきたと言います。長岡高専では寮生活。お風呂の椅子が汚くてとても不満だったけれど、誰も文句を言わない。やがては卒業するから辛抱すればいいと思うところ、寮長になって学校と掛け合い、その椅子を全て変えたと言います。また、創業したばかりの頃、アイデアはあっても運営する資金がない。困っていた時に、「資金援助を考えてもいい。ロンドンに来るか？」という話に、何の躊躇もせずすぐに飛行機に飛び乗ったと言います。英語で仕事内容を話す語学力もない。そこで、行きの飛行機の中で英語を勉強し、プレゼンテーションを作ったのだそうです。そして見事１億円の資金援助を得たそうです。**目標のために、実現のための手段を考える。あきらめるのではなく、可能にするための努力をする、**ということでしょう。彼は、「友達とずっといる」ために、会社を作り、「長岡花火を夜空に打ち上げる」ために、その協賛金を支払えるよう会社を大きくしたり、今は「新潟を元気にする」、「若者の働き場を増やす」ために、新潟の人々とデジタルをつなぎ、自分と同じようなベンチャー企業の若者による起業を応援しています。現状の不満に着目し、「こうしたら良くなる」という発想を持つことの大切さを説いているのだと、私は感じました。社長を退き、会長となったのも「新たなる挑戦をし続けるため」ということです。

学習指導要領が変わり「主体的・対話的で深い学び」を生む授業を組み立て、思考力・判断力・表現力を生かし、無から有を生むような創造する力を育成していくことが求められています。一問一答とか暗記ではなく、「どうしたら、みんなが幸せに暮らせるか」といったいろんな物事が絡み合った複雑な問題に対して、自分の知識をフル動員して、自分なりに最適な解答を導く力を伸ばしていく教育へと変わっています。渋谷さんは、まさしくそんな考え方をいつもしてきたのだと思います。「**考えること**」そして「**行動に移してみること**」そうやって自分を鍛えていくこと、このことを生徒たちに受け止めてほしいと願い、今号の巻頭言とします。

（参考：「友達経営　大好きな仲間と会社を創った」渋谷修太　2022.2　徳間書店）

（写真・ロゴの使用についてはフラー㈱に許可をいただいています。）

思いを歌声にのせて！ 感動をよんだ合唱祭

今年度の合唱祭スローガンは「心動～届けよう この思い～」。生徒たちは、合唱祭を見に来てくださった方々の心を動かしたい、感動させたいという願いを込めて、音楽の時間はもちろん、昼休み、放課後と練習を積み重ねてきました。練習では、自分たちの課題を見つめ、どう克服していくかを話し合い、みんなで進むべき方向を共有しながら日々成長する姿が見られました。

当日は、西山中学校の生徒らしく、堂々とさわやかに素敵な歌声を会場の方々に届けてくれました。歌い終わった後の体育館は、大きな感動と温かい空気でつつまれていました。

この日を迎えるまでに、生徒たちは「みんなでひとつのことをやりきることの大切さや楽しさ」を学んだことと思います。これからの生徒たちの更なる成長が楽しみです。

１年クラス合唱

２年クラス合唱

３年クラス合唱

吹奏楽部による演奏

全校生徒による合唱

〈合唱祭で発表した曲〉

	課題曲	クラス曲
１年生	夕やけこやけ	COSMOS
２年生	冬景色	ほらね、
３年生	いざたて戦人よ	青い鳥
全校合唱	明日へ	ふるさと

今年度は、家族の人数制限を設けず多くの方々にご来場いただきました。たいへんありがとうございました。これからも、生徒たちを応援していただければと思います。よろしくお願いいたします。

〔保護者アンケートより（一部抜粋）〕

- **各学年、皆さん精一杯心の底からの素敵なハーモニー。とってもとっても良かったです。感動しました。全校合唱も圧巻でした。また、聞きたい気持ちになりました。**
- **家でも練習していました。親も知っている歌だったため、一緒に練習しました。**
- **初めて合唱祭を見に来ました。小学校とは、また違ってすばらしかったです。**
- **１年生は初々しさがとても良かったです。**
- **２年生の「ほらね、」泣きそうになりました。**
- **３年生のよりたくましくすばらしい合唱、感動しました。**
- **吹奏楽部の皆さんも少人数の中、頑張っていて感動しました。**
- **他学年の発表を聞く生徒の姿勢が素晴らしいです。合唱にも感動しましたが、生徒たちの統一感に感心しました。**

よりよい進路、生き方を追求！ キャリア教育の実践より

西山中学校では、キャリア教育として「生き方」に関する学習の充実を目指し、年度当初より各学年において職業調べ、キャリア講演会（職業講話）、上級学校調べなどの実践を積み重ねてきました。１０月以降は、特に職業講話の実践が多くなります。

卒業後も、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できる姿を目指しキャリア教育に取り組んでいきます。

〈2年生：地域医療の発展に向けて〉

１１月４日（金）柏崎総合医療センターの津吉秀樹様をお迎えし、地域医療の現状や病院の業務、魅力ややりがいについて講話をいただきました。ユーモアを交えた魅力あふれるお話を通して、生徒たちは地域医療を発展させるための努力や心構えなどを深く学ぶことができました。

また、DMAT 救急車の説明を聞いたり、車内に入ったりすることができ、貴重な体験となりました。

〈2年生：和食職人の職人技に挑戦〉

１１月８日（火）、講師として割烹「いなほ」の小池様と呑食処「三五郎」の品田様をお迎えし、板前職人としての技、包丁の使い方を御指導いただきました。

まずは、講師の方々の包丁さばきの披露。一本のキュウリがまたたくまに姿を変え、その見た目がひとつの作品のようになっていく様を見て、生徒たちも驚きの様子でした。

そして、いよいよ生徒たちの実践。日頃使い慣れていない包丁を手に戸惑いながらも、アドバイスをいただきながら野菜を切っていました。

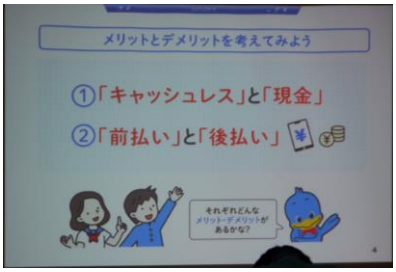
調理の技術はもちろん、お客様へのおもてなしの心も学ぶことができました。

〈3年生：よりよい生き方を考えて〉

３年生の後期の総合的な時間のテーマは「よりよい生き方を考える」です。

まずはお金に関する学習として１１月４日（金）、ろうきん柏崎支店の飯沼　脩様を講師に迎え、金融に関する講話をいただきました。

「キャッシュレス払いと現金払い」のメリットやデメリットなどを学び、キャッシュレス時代にどう向き合っていくかを考える貴重な時間となりました。



３年生はこの後、「自分の価値観や考え方」にスポットをあてて「生き方」について学びを深めていきます。

健全な心と身体の大切さを学びました

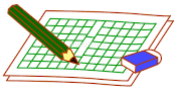
１０月２１日（金）、助産師の石黒直美様をお迎えし、１年生は「生命誕生～かけがえのない命～」、３年生は「15歳の生と性～思春期を大切に過ごすために」をテーマに性に関する学習をしました。

１年生は、赤ちゃん人形の抱っこなどの体験を通して命の尊さを再認識できたり、３年生は、若者の性に関する情報や現状を知ったりすることで、自分や自分の周りの人を大切にする気持ちをさらに高めることができました。

また、１１月１５日（火）には、３年生が柏崎ライオンズクラブの方々を迎え、「薬物乱用防止教室」を実施しました。
県内や市内の現状を聞き、薬物の危険性や身近なところに潜んでいることを実感することができました。また、誘われたときはしっかりと断ることの重要性も学びました。

〈栄光の軌跡〉

〇税についての作文
　柏崎刈羽地区租税教育推進協議会長賞　小林　りおん　「税からの期待」



〇第６８回青少年読書感想文全国コンクール新潟県上越地区予選
　優秀賞　　店橋　夏帆　「『セカイを科学せよ！』とものの見方」
　（青少年読書感想文全国コンクール新潟県審査では佳作を受賞しました。）

１２月の予定　※今後の状況によって、変更する可能性があります

日	曜	予　定	日	曜	予　定
1	木	蓮池さん人権講話	17	土	
2	金	基礎テスト国語③	18	日	
3	土		19	月	
4	日		20	火	
5	月		21	水	
6	火	専門委員会	22	木	
7	水		23	金	休業前集会
8	木	西友会 役員選挙	24	土	
9	金		25	日	
10	土	吹奏楽部アンサンブルコンテスト（上越文化会館）	26	月	
11	日		27	火	
12	月		28	水	
13	火	個別面談　校内作品展(16日まで)	29	木	年末年始休業
14	木	個別面談	30	金	年末年始休業
15	木	個別面談　ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ来校日 にしやま心ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ講演会	31	土	年末年始休業
16	金	個別面談　ﾍﾞﾈｯｾ総合学力調査（1,2年）			

右のQRコードにアクセスいただき、学校や生徒の様子をご覧ください。